

# 北村秀人

きたむら・ひでと

ジャズプレイヤー

## 経 歴

生:昭和10年(1935年)ごろ

没:平成9年(1997年)7月、享年63歳

昭和28年(1953年)	18歳ごろ	広島県福山東高等学校(誠之館)卒業
昭和47年(1972年)ごろ	37歳ごろ	虹プロダクション
—	—	北村秀人クインテット

## 「BUT BEAUTIFUL」北村秀人(VENUS TKCV-35046) 北村秀人(ts) 堺 敦生(ep) 厨子秋男(b) 平沢清二(ds) 1992年6月2日録音

- ①But Beautiful
- ②Dolores
- ③Birks Works
- ④Alone Together
- ⑤Moonlight In Vermont
- ⑥Cheese Cake

97年7月に63歳の誕生日を目前に亡くなった北村秀人の唯一のリーダー・アルバム。  
死後1年経ってからヴィーナス・レコードから発売された。

日本にもこんなテナーマンがいたことに驚いた。

北村の奏法はコルトレーンなどと違い、メロディーの美しさを重視しているようで、どちらかという  
とデクスター・ゴードンなどに近いがそのハスキーヴォイスは独特のものがあ、私が聴いた  
狭い範囲での日本のテナーマンにはない独自性があるように思う。

淀みないアドリブフレーズはそれこそ「唄心」に溢れている。

92年6月の録音であるから、57歳の時に吹きこまれた作品だが、全体に覇気がある。

ライナーノーツによると、生前何度もアルバムのための録音を行なったそうだが、本人はなかなか納得しなかったそうで、よい意味での完全主義者だったとのこと。

くしくも同年に亡くなられた KJFC のソウルブラザー小西徹さんと近い職人気質を持たれていたのだろう。

それともこの世代共通のジャズと自分の音に対するよい意味でのスタイリストだったのかもしれない。

演奏はスタンダードばかりで、どれも素晴らしい。

特に④⑤⑥の3曲は珠玉の輝きがある。

ただ私は自分が嫌いなだけに電気ピアノが入っているのが残念に思う。(我蘭堂) (出典 1)

作 品			
氏 名	名 称	発行所	日 付
北村秀人 ほか	CD「BUT BEAUTIFUL」	ヴィーナス・レコード	1998年

出典1:HP「丸谷ジャズファンクラブ(KJFC)」

2007年4月4日追加●